

# しみん基金・K O B E NEWS

Vol.40

2017年1月号



認定 NPO 法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

2016年ラジオ関西まつりに  
参加して

近年、自然災害が頻繁に起こっています。私たちは、「備えが必要である」ということを痛感しています。しかし、保存食にも消費期限があり、使用されずに処分してしまう食品も多々あります。そのため、「備え」を怠ってしまいます。

そこで現在では、食品の無駄を無くし、より多くの人に非常時の備えをおこなって貰うために「ローリングストック」という方法が注目されるようになってきました。まだまだ普及に至っていないようですが、「ローリングストック」を活用した備えを広めていくために、しみん基金・こうべと神戸女子大学の共同で、保存食品を利用した料理をラジオ関西まつりで販売することになりました。

主な食材として、非常時に水で戻すため重宝されるものの非常時に比較的食べることが少なく、消費期限後に処分されやすい、アルファ化米を使用することになりました。アルファ化米を平鍋きにして作った団子の表面をカリッと焼き、具沢山の和風スープに入れて提供するにしました。アルファ化米の団子に抵抗がなく、美味しいとの評価を得られました。今回のように消費期限が近づいた保存食品の食べ方を発信して行くことも「備え」を促進する一因になるのではないかと思います。阪神淡路大震災から22年、震災を知らない人が増えた今、このような防災関連の催しからも「非常時の備え」を広めていく必要があるのではないかと思います。

神戸女子大学健康福祉学部

松浦紀美恵



## 目次

平成28年度公開審査会ご報告

ラジオ関西まつりご報告

平成27年度助成成果報告会ご報告

寄付がつけられるひと そだてるまちのおしらせ

Tポイントキフ新サイト/こうべあいウォーク

はあくとふるふあんど支援金のご案内

21年目のひとり言

6 5 4 3 2 1

写真:ラジオ関西まつり2016出展時



## 平成28年度 公開審査会開催

2016年10月28日(金)、神戸市青少年会館にて、しみん基金・こうべ助成事業の公開審査会が行われ、下記のとおり助成先を決定いたしました。

応募総数は26件(一般枠24件、特定枠2件)、9月の理事会において書類審査の結果、16の団体の方々にプレゼンテーションを行っていただくことになりました。そして、その各団体の活動場所を訪ねるヒアリング調査を経て公開審査会を行い、審査の結果、下記の8団体の事業に(一般枠)7団体百99万8千円、特定枠(1団体25万円)合計2百24万8千円を助成することが決まりました。

今年度は特定枠を東北の被災地に限らず、熊本なども含め、大規模災害の被災地域としましたが、上限・総額とも減らしたこともあり、応募は2件のみでした。特定枠を設定した2011年から6年目となり、寄付額は減少しています。災害支援の助成枠を、今後どのように続けていくか、検討が必要とされています。

新たに審査員に加わっていただいた青少年会館館長の辻幸志さんにお計らい頂き、今年度から三宮駅に近い、青少年会館で実施することができました。会場に対する参加者アンケートでは95%の方によい、もしくは、まあまあよいと評価していただくことができました。

### 助成対象団体紹介

#### <一般枠>

団体名	事業名	事業概要
シルバーカレッジ 里山花実の森プロジェクト	環境学習「カブトムシの棲み家づくりから成虫までの観察体験」	シルバーカレッジ新卒者の継続的確保を実現していくことで、都市部の小学校における自然環境体験の教育を支援する。
舞子坂ふーみん	空き家利用の居場所～家庭料理と誰でも参加のカルチャー教室～	高齢者・障害者を含めた住民への昼食・映画会・季節行事などの住民交流事業・ミニカルチャー事業・生活サポート事業を行うことで、安心して暮らせる地域づくりを目指す。
日韓学生会議	第57回日韓学生会議	日韓学生会議に参加意欲を持つ学生に対して費用の支援を行うことで、日韓国際交流の促進を図る。
(特活)そらしど	障がい理解のための出張公演プログラム開発と障がい児保護者への子育て支援事業	障がい児の保護者が抱える悩み(障がいについて知らない・周りから分かってもらえない等)の解消のため、出張講演プログラム開発や保護者間のネットワーク作りを支援する。
兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会	喉摘障害者の代用音声発声指導員の養成研修	代用音声発声指導員を養成・確保することで、喉摘者の代用音声発声の実現を支援する。
ガリレオクラブ インターナショナル	入院児や障がい児と一緒に万華鏡でニコニコプロジェクト	入院児や障がい児に作る楽しみや達成感、若い人達との交流を楽しんでもらうことを実現する為に、大学生のボランティアを募り病院や施設に出向いて万華鏡作りを行う。
(一社)new-look	夜の街の若者へ「夜回り」から「学び直し」のきっかけを届ける事業	夜の街の若者や高卒中退者が抱える背景は社会問題そのものであり、彼らに対する相談窓口事業と高卒認定説明会を行うことで成長を支援する。

#### <特定枠>

どろんこキャラバン☆たんぼ	どろんこキャラバンたんぼ☆サマーキャンプ2017	放射線被ばくの心配がない丹波で、福島の子どもたちが伸び伸びとしたキャンプ生活を味わうことができる。
---------------	--------------------------	---

10月9日ラジオ関西まつりにて  
チャリティ×防災イベント「ローリングストックついで」

開催!

当日は朝方まで雨模様でお天気が心配されましたが、準備が始まった8時ごろにはすっかり雨もやみ、昼ごろには晴れ渡ってきました。相当な人出となりました。

当基金のブースでは、ご家庭で眠っている賞味期限の近づいている保存食を持ってきてもらい、代わりに新しい保存食(井上食品提供「パリパリこいわし」やMCC食品提供「消防隊カレー」等)を「ローリングストック」の大切さを知ってもらうためのパンフレットと一緒にお渡ししました。

ご家庭からご持参頂いた保存食は、認定NPO法人フードバンク関西に寄付して、支援を必要とする人たちを支える福祉施設等へ提供されました。

いざという時、食べられない保存食を食べることは、特に小さなお子さまは不安を増大させます。普段から保存食をおいしく食べるため、神戸女子大学とコラボし、女子大生たちが2か月も前から考案した「もちり団子と野菜たっぷり和風スープ」を販売しました。(保存食として、サタケのアルファ化米「白飯」と井上食品の「パリパリこいわし」を使用しました。)

今回の初めての試みにご協力いただいたみなさまにお礼申し上げます。

■主催：チャリティ×防災イベント実行委員会

(認定NPO法人しみん基金・こうべ、井上食品㈱、神戸女子大学、NPO法人アラス・アーツ)

■協力：

認定NPO法人フードバンク関西 協賛(順不同)：

㈱夢舞台ウエスティンホテル淡路、  
我・太田法律事務所、奥井電機㈱、  
㈱築港、金公認会計士事務所、  
まめや総本店、㈱ビーエス、  
近畿タクシー㈱、㈱甲南堂印刷、  
NPO法人農業マツチ勉強会、  
(社福)三光事業団、㈱ボック  
(社)MANIX、MCC食品㈱  
佐藤庸安税理士事務所、㈱サタケ  
生活協同組合コープこうべ



平成27年度助成  
成果報告会開催

12月9日(金)13時半より、神戸青少年会館で成果報告会を開催しました。

27年度助成先全団体が、28年度助成先団体の内の6団体、一般参加者など、約35名の方々に対して1年間の成果をご報告いただき、審査員や理事からコメントがありました。

報告に続き、しみん基金・こうべ特別賞を、公開審査会でプレゼンにしていたいただいた団体の中から、ミュージックアトリエ「エコー」さんに贈呈いたしました。



最後に審査員長の森崎さんより、「ここは今日参加の長期入院の子どもたちを支援している2つの団体がつながったように、つながりの場を提供していく場です。」とコメントされました。

報告された団体は左記の通り。

- 1 自立生活センター  
リングリング
- 2 FOP 明石
- 3 (特活) Peace&Nature
- 4 (特活) 兵庫県子ども文化  
振興協会
- T1 (特活) しゃらく
- T2 東日本大震災避難者の会  
Thanks&Dream
- T3 避難者と共に歩む  
神戸の会
- T4 アトリエ太陽の子

## 寄付が繋げるひと 育てるまち

## Tani matching 2017

小さくても地域にとつてかけがえのない  
市民活動団体を応援してください

「住み慣れた地域で最後まで暮らし続けたい。」  
そのような願いを実現するために、「助け合いの地域活動」という形で汗を流す市民活動団体があちこちで見受けられるようになりました。

希薄になる地域社会にあって、人がつながり関係を結び合うことが、最後まで地域で暮らせる重要な要素です。

高齢者や孤立しがちな人々子育て世代やそのことも様々なニーズに応え、助け合いをささげ合う活動を展開している団体は顔と顔のみえる関係を重視する価値をもち、規模は小さく発信力も強くはありません。

このイベントは、地域住民や企業のみならず、市民活動団体のプレゼンテーションを直に聞いていただき、「是非応援をしたい!」と思う団体に、その場で投票をし「寄付」という形で、「想い」を託していただくものです。

2017年2月4日(土)  
13:00~17:00  
神戸ベイシエラ  
3F六甲の間A



## ●開催内容

- 1、地域の市民活動団体のプレゼンテーション
- 2、各団体ブースヒアリングおよび交流
- 3、支援者による投票
- 4、支援者ご紹介
- 5、投票結果発表

## ●参加費・協賛金

個人…1口につき1万円

(うち、参加費4千円、協賛費6千円)

企業・団体…1口につき2万円

(うち、参加費8千円、協賛費1万2千円)

※企業・団体は1口につき2名まで参加可能  
※参加費は、当日のイベント開催経費に使用  
します。協賛金は、当日直接選ばれた団体への寄付になります。

なお、協賛金は寄付金控除の対象となります。

11月20日(日)にこの企画のキックオフとして、「プレセミナー」を開催しました。

## 開催内容

1. 基調講演 しみる基金こうべ理事長 戒正晴  
タイトル:「寄付」という名の市民活動
2. 先進事例報告 (公財)あいちコミュニティ  
財団代表理事 木村真樹氏  
コミュニティ財団設立の経緯とその趣旨、そして  
今なぜ財団内に「知多型0~100歳まっちっく  
り基金」を立ち上げたのかについての紹介
3. 車座トーク  
参加者全員で、「住み慣れた地域で最後まで暮らせる」ためのビジョンや、「寄付をしたくなる団体の条件」等について意見を出し合い、グループごとにその内容を発表してもらいました。

今回のプレセミナーを通じて、今後、この企画を発展させていくためには、下記3つを大切にしていきたいと考えています。

(1)市民活動団体は、「寄付を「お願いする」という関係性でなく、ある課題に対するプロトとしての解決策を買って頂くという関係を構築していく必要がある、そのためには、市民活動団体は、PDC Aサイクルをしっかりと回すマネジメント力が求められる。

(2)企業に対しては、市民活動団体とのウィンウィンの関係をつくるためには、備けの面だけでなく、従業員が市民活動を応援するプロセスに関わることを通じてチャレンジ精神が養われ人材育成にもつながる、という視点を持つことが求められる。

(3)市民に対しては、自分たちが住みやすい良い街にしたいという想いを実現するためには、自分たちが身近な助け合いの活動に共感して寄付という形でその想いを託すことが求められる。

## Tポイントでキッ

新サイトできました。



Yahoo! ネット募金での、  
ずっとこころつなく基金  
のページに加え、新たに、  
神戸地域のための基金  
(おたがいさま基金)  
のページができました。



☆Tポイントからでもご寄附いただけますので、余ったポイントや期限切れ間近のポイントがありましたら、是非ご寄附をお願いします。

## ☆募金方法

- 1) Yahoo ネット募金サイト内検索でしみる基金を検索
- 2) 左上にあるログインからyahooへログインする  
(yahoo IDをお持ちでない場合は、新規取得から作成をお願いします。)
- 3) 「Tポイントで募金」をクリックする  
(T会員情報に未登録の場合はTカード番号の登録をお願いします。)
- 4) 注意事項にチェックを入れ、利用可能ポイントのうち、何ポイント寄付するかを入力し次へ
- 5) 募金するをクリックすると、1ポイント1円換算で募金できます!



平成29年度  
はあふるふあんど支援金  
1月5日より申請受付開始

兵庫県内のボランティア・福祉事業(一)ボランティアあしすど(部門)および地域振興事業(ふるさと)振興サポート(部門)の支援金として毎年1回、申請書類の公募を実施し、公正な審査の下選考された各団体に支援金を交付し、地域社会への貢献を図っています。

● 支援対象期間..  
平成29年7月1日から  
平成30年6月30日までに  
終了する事業

● 支援金額..  
1事業につき総事業費の4分の  
3以内、かつ最高百万円まで。

● 申込受付期間..  
平成29年1月5日(木)  
10時~17時 最終日必着  
3月6日(月)

● 申し込み方法  
指定の申請書類を神戸新聞事業社まで郵送または持参

## 22年目のひとり言

失われなかったものから

阪神・淡路大震災から22年神戸市に住んでおられる方々の内、震災を経験していない人口は4割を超えていると聞く。2021年には5割を超えるそうだ。私たちは、何を伝え、何を残せばよいのだろうか。

今年の1月17日、担い手不足によって追悼行事を行うことの出来ない地域もあったように聞いている。震災を経験していない人たちにとつて、本当に必要な情報とは何なのだろうか。災害への備えだろうか？防災への心構えなのだろうか？人と人との繋がりの大切さなのか？どれも必要なことのように感じるが、それらを現実味を持って伝えられるのかと問われると甚だ心許無い。

日本の高度成長期、人々は同じ方向を見て進んでいた。しかし、高度成長の終焉と共に人々の価値観は多様になり、それぞれが描く未来も多様になった。社会は多様性を受け入れ、多様性の中に、共に生きる繋がりを探求している。

「失ったものを数えず、失われなかったもので明日を考える」神戸新聞のコラムにあった言葉だ。あの日から22年、震災を経験された人たちが経験していない人たちが共に、失われなかったものから明日を考えることが大切だに思えてならない。

しみん基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

## 会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人34名 団体2 団体  
◆賛助会員 個人41名 団体10 団体  
(2016年12月末現在)

◆新規賛助会員(敬称略・順不同)  
石田祐、近藤マヤ子、中嶋貴子

◆寄付・募金合計金額  
百78万2千6百14円

◆寄付者・募金一覽(敬称略・順不同)

中島秀男、飛田雄一、中谷豊、戎正晴  
瀬戸口延恵、田邊信男、中嶋貴子

齋本郁、山田剛司、佐竹義浩、辻幸志  
石田祐、江口豊、戸田香苗、他1名、

佐藤康安税理士事務所、近畿タクシー(株)  
(有)ボック、奥井電機(株)、オレンジスリフティ

(株)夢舞台、ブックオフコーポレーション(株)  
ブックオフオンライン(株)、(株)甲南堂印刷

(二財)敬愛まちづくり財団、内外興産(株)  
(株)078、生活協同組合こうべ

(株)MANIX、(株)築港、(学法)行吉学園  
(社)福三光事業団、金公認会計士事務所

ヤブ(株)、(特活)農業マッチ勉強会  
(株)ピーエス、ラジオ関西まつり来場者募金

(2016年6月～12月)  
※皆様方からのご厚志に感謝致します。

クレジット決済もご利用頂けますので、活用ください。

当基金ホームページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円  
団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどでお名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

★振込口座  
三井住友銀行三宮支店

普通 7965892

みなと銀行本店営業部

普通 1597921

近畿労働金庫神戸支店

普通 4161854

郵便振替  
00990-5-57334

口座名義すべて  
「しみん基金・こうべ」

あけましておめでとうござい  
います。昨年のご支援いただきあ  
りがとうございました。

昨年からは新たな試みにチャレンジして  
いますが、本年も試行錯誤する年となりそ  
うです。引き続き、温かい目で、ご支援をよ  
しくお願いいたします。(と)